



校訓

なかよく かしこく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年7月3日 第7号 文責 梶原 圭一



学校運営協議会委員の皆さま お世話になります

6月20日(火)に、本年度1回目の学校運営協議会を行いました。学校運営協議会とは、「**地域とともにある学校づくり**」を目指し、学校と地域がパートナーとして、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組んでいこうとする取組です。

本年度、菊陽町教育委員会から15人の委員が本校の学校運営協議会委員として委嘱を受け、学校経営の在り方や子どもたちの様子等について意見交換を行うこととなります。本年度の学校経営の方針について説明した後、以下のようなご意見をいただきました。一部を紹介します。



- 子どもたちのことを考えて、ボランティアで毎朝交差点に立って登校時の子どもたちを見守ってくれている人たちがいます。その方々には、子どもたちから挨拶ができるようになってほしい。
- 運動会の練習の音楽は、学校近隣にもあまり聞こえてこなかった。地域のことを考えてのことだと思うが、子どもたちに聞こえていたのかどうか心配した。もう少し音が出せるよう、自治会にも頼んでみたい。

よりよい授業を目指して

それぞれの学年の子どもたちが、授業を通して、「分かった」「できた」「もっとやってみたい」と学習に対する意欲をもってくれることは、私たち教職員にとって一番の喜びであり、目指す姿でもあります。誰一人取り残さない学びの保障を求め、日々の授業改善と研修に取り組んでいます。

学校教育は、日々進化しています。そのような中、本県には、それぞれの学校で優れた実践を行われている先生方がいます。先生方のすばらしい実践に学ぶとともに、子どもたちの瞳が輝くような授業を目指し、職員で力を合わせながら取り組んでいきたいと思ひます。



読み聞かせは素晴らしい

6月22日(木)に、PTA図書委員会の皆さまによる読み聞かせが行われました。各学年に応じて、子どもたちがお話の世界を楽しむような絵本等を選んでお話いただきました。様子を見て回ると、子どもたちが食い入るように引き込まれていることが伝わり、「読み聞かせは、素晴らしい」と、改めて感じました。子どもたちに感想を聞くと、次回の読み聞かせを楽しみにしているという意見がたくさん聞かれました。



「ありがとう」の気持ちを表す学校に!

私たちの生活は、たくさんの人たちの支えによって成り立っています。しかし、同じような毎日を繰り返しているうちに、何事もしてくれることが当たり前のように感じてしまいがちです。子どもたちには、「『**ありがとう**』の**言葉が響く学級・学校にしよう**」と話をしています。「感謝」の気持ちが表れた言葉は、相手や周りの人たちに温かな気持ちにさせる力があると考えています。ご家庭とも連携し、「ありがとう」の言葉を広げていきましょう。